

各位

2011年4月6日  
NPO法人 そらべあ基金

太陽光発電で被災者支援  
～ソーラーパワートラックを被災地へ！～

【第2弾】

3月11日に発生した東日本大震災で東北地方を中心に大きな被害が発生しております。

被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に  
対し、深くお悔やみを申し上げます。

この度、NPO法人等の共同で被災地への支援として、ソーラーパワートラックを利用した電力支援  
を考えております。この支援は、協力・協賛企業様や個人様とともに取り組み、被災者の救済や復興  
支援に役立てたいと思います。

すでに、第1弾として、2011年3月24日～30日の期間、宮城県石巻市や南三陸町周辺に向かい、  
本プロジェクトを実施しました。各地域から届いた支援物資が一定の大きな街に留まり、街から離れた  
小さい集落などに届いていないところが出てきています。被災地の皆さんの生活を支えるためにも  
物資の運搬のお手伝いをしました。被災地では停電が続く地域も多く、携帯電話の充電や電化製品の  
使用に支障が出ています。そこで、ソーラーパワートラックで被災地を巡回し、運搬と同時に発電で  
きるソーラーパワートラックのメリットを最大限に活かすことにより、いまだに電気が通っていない  
地域へ電気を届けました。また、アニメーションを流すなどにより、子どもたちの心のケアをしまし  
た。被災地の子どもたちは、様々な要因で心に傷を負っています。その心のケアが非常に大事と思い、  
子どもたちに少しでも明るさを取り戻すお手伝いをしています。更に、携帯電話の充電により被災者  
がいつでもつながるといふ安心感と、心のケアにつなげています。

第2弾では、第1弾で、実際に現地を見て、聞いて、収集した情報を基に、さらに必要とされて  
いることを実施します。被災地で復旧の為に働いているお父さんやお母さんの帰りを待つ子どもたち  
にソーラーパワートラックから携帯の充電や子どもたちが好きなゲームなどの電源を供給し、子ども  
たちが楽しく笑顔になれる場所を提供します。また、電気が復旧していない地域で、電化製品への電  
力供給を行うなど日常生活のサポートをします。加えて、被災地で働く人達のパワーになるような食  
事を提供します。料理研究家・五十嵐豪さん(\*)から特別レシピを提案していただき力が付くお肉料  
理や体が温まる料理をふるまいます。第1弾の目的を継続し、上記の活動を通して被災地でのメン  
タルケアをします。

ソーラーパワートラックの派遣と物資の支援を目的として、企業様や個人様からの寄付の募集をし  
ております。この活動は長い月日を要します、できるだけ多くの寄付を集めておりますのでご協力の  
程よろしくお願ひ申し上げます。

(以下は全て予定となります)

支援先 : 宮城県南三陸町の旭ヶ丘団地、石巻市の洞源院など

支援期間 : 2011年4月15日～19日

活動内容 : 子どもたちへアニメの放映とゲームの提供、日常生活に使われる洗濯機などの家電製品への電源供給、働くパワーとなるような食事の提供など。

車種 : ソーラーパワートラック (4t車)

20Wの太陽光発電パネルを250枚搭載し、5kWの発電が可能。蓄電池容量は最大2,340Ah。

目標金額 : 200万円以上

連絡先 : NPO法人そらべあ基金 (03・3251・5454) 担当 : 三澤、沼田

イーソリューション (03・6423・1324) 担当 : 矢倉、西井

#### 【協力・協賛企業】(順不同)

ソニー株式会社、株式会社アニプレックス、株式会社ダイナモピクチャーズ、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ、ソフトバンクモバイル株式会社、KDDI株式会社、NPO法人Point Green 推進環境会議、NPO法人エコロジーオンライン、NPO法人ソーラーシティ・ジャパン、イーソリューション株式会社、株式会社キシムラインダストリー、坪井特殊車体株式会社、株式会社バンダイ、株式会社フードクリエイティブファクトリー、チョコレート実行委員会、リスマイルプロジェクト、新宿イカセセンター、株式会社エイバック、有限会社ACCENT、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント、株式会社東京洋紙店、日立アプライアンス株式会社、シチズン時計株式会社、アサヒビールグループ、公益財団法人日本財団

(2011年4月6日現在)



参考写真 : ソーラーパワートラック

(\*)五十嵐 豪さん : 料理研究家。広告、雑誌、講演、食連動・コンセプトアドバイザーを中心に活動。「温かいスープを地球の食卓に!!」をビジョンにした“啓蒙活動”に力を注いでいる。

